



質問する井上議員＝6日、
大阪市議会都市経済委員会

松井一郎 大阪市長（日）
本維新の会顧問らが誘致を狙う。IRは、カジノやホテル、展示場などを備えたものです。市は2018年から土地の価格

IR事業を考慮外にと指示

松井一郎 大阪市長（日）
本維新の会顧問らが誘致を狙う。IRは、カジノやホテル、展示場などを備えたものです。市は2018年から土地の価格

井上氏がその理由をた
り得ない手法

IR事業を考
慮外にと指示

松井一郎 大阪市長（日）
本維新の会顧問らが誘致を狙う。IRは、カジノやホテル、展示場などを備えたものです。市は2018年から土地の価格

誘致計画は即刻中止を

夢洲カジノ用地評価額

大阪市議会
都市経済委

井上浩議員が追及

調査や鑑定評価を計3回、延べ9回実施しましたが、鑑定に当たりIR事業を「考慮外」とするよう指示。鑑定業者はIR用地全体をショッピングモールのような「大規模複合商業施設用地」として評価しました。

したのにに対し、大阪港湾局は、「これまで国内で実績がないなどIR事業の特殊性により、鑑定業者から評価の前提とするのは適切でないとの意見を踏まえ、市として判断した」と答えました。

大阪港湾局は、鑑定業者が「循環論」を主張したこと、IR事業を考慮評価したのは、通常の鑑定の仕方としてあり得ない手法だと指摘しました。

大阪港湾局は、鑑定業者が「循環論」を主張したこと、IR事業を考慮評価したのは、通常の鑑定の仕方としてあり得ない手法だと指摘しました。大阪港湾局は、鑑定業者が「循環論」を主張したこと、IR事業を考慮評価したのは、通常の鑑定の仕方としてあり得ない手法だと指摘しました。

井上氏は、循環論を唱えた2社のうち1社は、業界トップの日本不動産研究所（本社・東京）だが、循環論は不動産鑑定評価基準にも鑑定業界に

も存在しない用語で、「珍説だ」と批判。「鑑定

談合の疑惑深まつた

して土地の賃料を鑑定する場合、IR事業者の事業計画を前提にしなければ鑑定が成立しないという珍説です。

疑惑まみれの
IR誘致計画

井上氏は、「IRを考慮外として土地の価値を著しく下げるなどというい」と断じました。井上氏は、「IRを考

慮外として土地の価値を著しく下げるなどというい」と断じて認められることは、断じて認められない。評価額談合の疑惑は一層深まった。疑惑まみれのIR誘致計画は即ち「珍説だ」と力説しました。